

## ■就職先企業に対するアンケート

### 【卒業生への期待】

**専門知識はもとより、企業がまず求めるのは、「積極性、健康・体力、コミュニケーション能力」などの基礎的な人間力。**

企業が求めているものは、専門分野の知識や技術であることに変わりはないし、とくに修士課程修了者に対してはより強く求められる。

しかし、企業は知識や技術を買うのではなく、役に立つ人材を求めている。

すなわち、やる気があって、人と協調して一緒に仕事を進める、ねばり強い人材を求めている。

人間としての基礎がしっかりできていれば、実践と勉強で知識も技術も身に付いてゆく。

また、企業が求める専門知識の主なものは、施工管理、測量、材料コンクリート工学、構造力学などである。

**専門知識も大切だが、人間としての基礎づくりが要望される。**

1位・2位・3位までの合計

#### 積極性

卒業生 83.0%  
修士課程修了生 84.2%

#### コミュニケーション能力

卒業生 37.7%  
修士課程修了生 47.4%

#### 健康・体力

卒業生 58.5%  
修士課程修了生 44.7%

#### 専門知識

卒業生 55.3%  
修士課程修了生 35.8%

**卒業生、修士課程修了生にも、ほぼ共通して求められる専門知識。**

#### ▼卒業生

1. 施工管理	92.5%
2. 測量	77.4%
3. 材料コンクリート工学	60.4%
4. 構造力学	52.8%
5. 製図	49.1%

#### ▼修士課程修了生

1. 施工管理	81.6%
2. 測量	68.4%
3. 材料コンクリート工学	60.5%
4. 構造力学	47.4%
5. 土質工学	42.1%

### 【JABEE対応の教育プログラム】

**計画的な遂行能力は就職してからでも身に付く。しかし、学生時代から、情報技術やコミュニケーション能力も含めて身に付けてほしい。**

専門知識は重要だが、情報技術の知識も学生時代に身に付けて欲しいと企業は要望している。

大学の授業を通じて、コミュニケーション能力も身に付けることを求められている。

計画的な遂行能力や技術者の社会的倫理は就職してからしっかり身に付けて欲しい。

いずれにしても、学生時代に身に付けて欲しいのは、自主的な学習能力であり、この能力がないと、企業に入って経験を積んでも、実践的な専門知識や技術は身に付かない。

### 学生時代に自主性やコミュニケーション能力を、就業してからより実践的な能力を。

#### 取得項目

##### ▼かなり重要

計画的就業能力 66.0%

専門技術知識 52.8%

自主的学習能力 52.8%

##### ▼まあまあ重要

技術者倫理 58.5%

情報技術知識 56.6%

コミュニケーション能力 49.1%

#### 取得希望時期

##### ▼学生時代に取得すべき

自主的学習能力 83.0%

情報技術知識 66.0%

コミュニケーション能力 52.8%

##### ▼就職後の10年間で取得

専門技術知識 67.9%

計画的就業能力 50.9%

技術者倫理 50.9%

**【企業との連携】**

**これから増える産学協同. 学生のうちから企業の実践面に触れる姿勢が必要.**

大学と企業との連携で可能な事項として、インターシップ制度、卒業研究の企業共同参加、大学教育への企業の協力などがあるが、実践しているのはまだわずかである。

しかし、半数以上の企業が、それぞれについて、今後受け入れてゆきたい、としているので、本学科のこれからの教育にも産学協同が様々な形で導入されてゆくことになるう。

**【学習・教育目標に対する意見】**

**就職してから身に付く能力を目標として採り入れていることにも、優れた評価を得ている.**

本学科の JABEE 型自己改善型教育システムの学習・教育目標や行動目標は、企業から優れていると評価を受けている。

ほとんどの項目で、半分以上の企業から「優れている」と評価されている。

とくに、学習・教育目標では、就職してから身に付く、コミュニケーション能力も、大学教育で指向されているため、評価が高い。

また、就職してから身に付くような、課題に取り組み成果をまとめ報告するという行動目標も高く評価されている。

このように、本学科の教育システムは、企業が求める方向性を有しており、企業から優れているとの評価を得ている。

しかし、これらの評価も、度々、触れたように、今後社会で必要となる知識や情報を導入してゆく自己改善型の教育が認められているからである。

**【企業の本学科への要望】**

**本学科の教育方針は共感できる. 将来、コアとなって活躍する人材になってほしい.**

本学科の卒業生はおとなしい人が多い。

よって、時代の不安を吹き飛ばすような何かや、力強さも欲しい。

誠実に仕事に取り組み、柔軟性のある思考ができて、明るく健康な人になって欲しい。

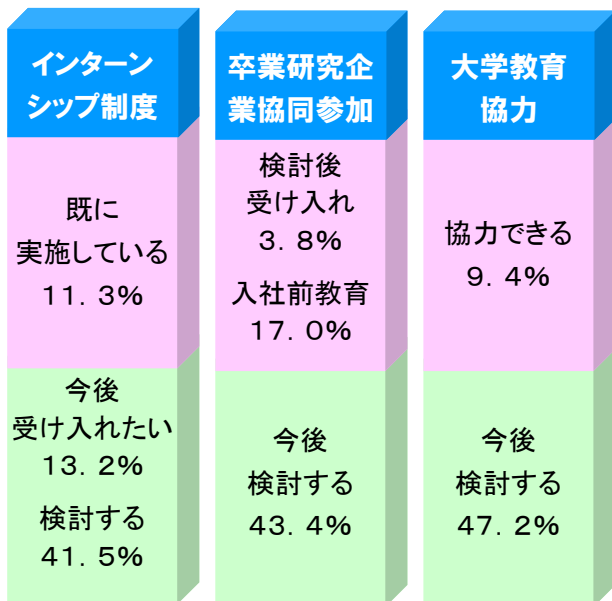
コミュニケーション能力も必要だが、相手の求めているものが分かる直感や知恵も必要。

専門知識とは、経験をした結果に反省を加え、体験にまで高めることである。

卒業後にこそ本来の学習が求められる。

学問と社会の接点には大きな差がある現実を考え、その上で社会に役立つ人間の育成を求めている。

**まだ少ないが、これから増える、産学協同.**



**就職して身につく能力も、目標の中に取り込まれていて、良い評価につながっている.**

